

研修(講座)名	満足と達成感！ファシリテーター養成講座(第1回)		
期日	令和8年8月21日(金)	時間	9:50～16:00
会場	サン・レイク	参加者数	8名
ねらい	講義と体験をととして、ファシリテーションや参加型学習の考え方について理解を深める。		
研修プログラム	【 講義 】	「ファシリテーションの見取り図」	
	【 体験 】	「アイスブレイク・参加型学習」	
	【 演習 】	「グループファシリテーション体験」	
	【 ふり返り 】	「気づきの共有」	
研修の様子			
	【 講 義 】	【 体 験 】	
			
	【 体 験 】	【 演 習 】	
			
	【 演 習 】	【 ふり返り 】	
参加者の感想	■アイスブレイクで、研修センターの皆さんが1人1つアイスブレイクを披露されたのが印象的だった。職員の皆さんがファシリテーターを体現されている組織だと感じた。全体を通じて「参加型」に非常に重きを置いて構成されていることが伝わり、誰でもできるようになる型のしっかしさと内容の質の高さが両立されたいい研修だった！ ■今日はどんなことをするのだろうと思いながら来たが、緊張していたのは初めだけで楽しく学べた。自分の作りたいプログラムについては、まだ定まっていない感があるが、次回までにイメージをふくらませておこうと思う。職場で、スタッフ研究のテーマとして「研修観の転換」を掲げており、その1つの視点として、スタッフのファシリテーションスキルを向上させることに取り組んでいる。そのための学びとしても、十分満足のいくものだった。 ■今回の研修を通して、自分の考える「理想のファシリテーター像」が分かった。社会教育主事講習での学びが活かしていることも知れたのと、「ねらい」の重要性についても気づきがあった。自分の中ではファシリテーターがいるからワークショップを行うものだという思いがあったが、ファシリテーターの存在感、安心感を知ることができた。今後も公民館事業等でファシリテーターをすることや他の方がファシリテーターをしているのを支えることがあるので、第2・3回目もしっかりと学びたい。 ■ファシリテーションをどのようにしていくか、“理想のイメージの言語化”“参加型学習体験”の2つを通して、イメージが湧いたのでよかった。体験する中で、いろいろなファシリタのあり方に触れることができた。プログラムづくりに不安が残ったが、現状と理想を整理し作成に取り組みたい。 ■ファシリテーションについて改めて知ることができた。今まで自己流で準備もしていたので、準備から進行まで参考になった。実際にファシリテーションをすることで課題点が見つかり、あと2回の研修を通して、さらなるスキルアップと自分なりのファシリテートを見つけられたらと思う。 ■分かりやすい説明でとてもよかった。実際に体験すると難しいこともあり、準備が必要だと感じた。次回は作成になるので、今回のことを活かしてがんばりたい。他の方のアイデアも参考にしたいと思う。 ■ファシリテーターはただの進行役かと思っていたが、そうではなかった。ファシリテーターの体験はとても難しかったが、率直な意見を言ってもらえたのがよかった。ファシリテーターは準備が大事ということが一番大事に思った。職員さんや、他の参加者さんに出会えたのもよかった。 ■自分の普段の課題は、悩みになってしまっているので分からない、答えが見つからない感覚だったが、グループワークを通して解決の糸口が見えたことが一番ありがたかった。準備の大切さや臨機応変なファシリテーターのすごさを感じた！		